

5 具体的な取り組み

(1) 学校の取り組み

① 幼稚園

- 生きる力の基礎を育むことをめざす創意ある教育課程の編成・実施
- 幼児一人一人の実態を把握し、資質・能力の育成に向けた指導計画の作成
- 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を具体的にイメージした保育の工夫改善
- 小学校区内における保幼小連携及び幼小連携の実施

- ・「学びの基礎力」(かかわる力・生活する力・学ぶ力)の充実
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の共有化→幼児教育と小学校教育との接続強化

1) 幼稚園の実態に応じた「学びの基礎力」(かかわる力・生活する力・学ぶ力)の充実を図る。

ア かかわる力(コミュニケーション能力の育成)

- ・言葉に親しむ活動→歌・お話・言葉遊び 等
- ・言葉で表現する活動→相手や状況に応じて言葉を使い分ける 等

イ 生活する力(生活リズムの確立: 基本的な生活習慣の形成)

ウ 学ぶ力(協同して遊ぶ力の育成)

- ・幼児が互いにかかわりを深め、協同する経験を積み重ね、「協同的な学び合い」へ発展するよう年間指導計画に位置付ける。

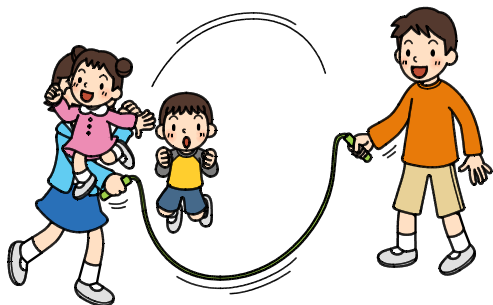
2) 幼児期にふさわしい生活を通して様々に活動を展開する中で資質・能力を育む。

3) 園内研修の充実を図るために、保育カンファレンスを通して保育の振り返りや反省等を実施する。

4) 幼児・児童の交流活動及び保幼小合同研修会を実施する。

5) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をイメージした保育の工夫改善を図る。

※右図の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、各項目を個別に取り出して指導するものではなく、幼児の自発的な活動としての遊びを通して、これらが育っていくように留意する。



<p>思考力の芽生え</p>  <p>子どもの興味を持って探し取りを繰り返している姿を褒めたりしましょう。また、自分で考えたり試したりする経験をたくさんつくりましょう。</p>	<p>社会生活との関わり</p>  <p>親子で話し合いを繰り返したり、自分の考えや気持ちを表現したりする機会を大切にしましょう。</p>	<p>健康な心と体</p>  <p>「遊ぶ時間・食べる時間・寝る時間」を大切にし、安定した生活リズムをつくったり、子どもと一緒に戸外でたくさん遊びましょう。</p>
<p>自然との関わり・生命尊重</p>  <p>親子で自然に触れる機会を多く取り、自然の美しさや生命の尊厳を大切にしましょう。</p>	<p style="font-size: 2em; color: red;">育ってほしい姿 こんなすがた</p> <p style="font-size: 2em; color: blue;">幼児期の終わりまでに</p>	<p>自立心</p>  <p>一つ一つのことに挑戦するのではなく、自分のことは自分でできるように練習を促しましょう。</p>
<p>数・図形・文字等への関心・感覚</p>  <p>「これは500円だね」「お茶碗は丸くてお茶碗だね」といった言葉を通して、文字や数への関心を高めるようにしましょう。(絵や図の読み解きも大切にしましょう)</p>	<p>協同性</p>  <p>子どもの思いや気持ちに寄り添って関わることが大切で、一緒に遊ぶ楽しさを共有できるようにしましょう。</p>	<p>豊かな感性と表現</p>  <p>歌や絵や粘土遊びなどを通して自分の気持ちを表現したり、友達と共有できるようにしましょう。</p>
<p>言葉による伝え合い</p>  <p>言葉で伝え合うことで、子どもの言葉が豊かになります。また、言葉の力を伸ばすために、言葉遊びや話し合いを大切にしましょう。</p>	<p>道徳性</p>  <p>言葉で伝えるだけでなく、行動でも伝えることが大切です。言葉と行動の両方を大切にしましょう。</p>	<p>探究心・表現力の芽生え</p> <p>好奇心を持って物事に興味を持ち、自分の考えや気持ちを表現できるようにしましょう。</p>


石垣市教育委員会 H29年1月